

## うしろだに 後谷ダムで動植物の観察会を実施

柏崎周辺農業水利事業所 調査設計課

平成26年6月18日(水)に後谷ダム保全エリア周辺において、希少な動植物の観察会を行いました。後谷ダムでは、ダム建設時に近隣の小学生の協力を得て、水没地域から保全エリアへ動植物を移植しました。また、ダムの完成後も、移植した動植物の生息状況を確認するためのモニタリング活動を毎年続けています。今年は、柏崎市立<sup>ないごう</sup>内郷小学校と二田小学校の4年生48名と一緒に、希少種の観察会を実施しました。

まずは、保全エリアに生息する希少植物を探し、ビンゴを埋めていくゲーム(フィールドビンゴ大会)をしながら、生徒たちに動植物の見つけ方を学んでもらいました。順調にビンゴが埋まっていくと、「ビンゴに載っていない動植物も探したい」と積極的にカタツムリやドクダミなどを発見していく生徒もいました。

続いて、移植した保全エリアの希少種として、ノハナショウブ、ヒツジゲサ、メダカ、モリアオガエルの生息状況を調査しました。保全エリアでの調査の結果、綺麗に花が咲いたノハナショウブの他、モリアオガエルの卵塊も発見することができました。生徒たちは動植物を観察すると共に、後で結果をまとめられるように写真に収めたり、位置を記帳したりしていました。



わいわいと賑やかな観察会になりました



こ、これは!!



キイチゴを発見!

観察結果の報告会では、生徒から積極的に質問があり、「植物は何種類ありますか。希少種はどれくらいですか。」「植物で300種ほど、そのうち希少種が10種類ほどです。」「ヒツジグサはいつ咲きますか」「ヒツジの刻というのは、昔の時間の表し方で昼の14時を意味し、その時間に咲きます。」等のやりとりがありました。最後に生徒から、「水と生きものをこれからも大切にしたいです。」と挨拶があり、観察会は終了しました。

農林水産省では、環境との調和に配慮した事業実施が進めており、当事業においても、後谷ダム建設における動植物の保全等を行ってきたところです。移植や保全エリアの整備後も、動植物の生息環境を維持し保全していくために、地域の理解と協力をいただきながら、今後とも当事業所ではこのような活動を続けていきたいと考えています。

(原稿作成：Y)



透視度も測りました



咲いていたのはココと...



「植物は何種類ありますか」



「水と生き物を大切にしたいです」